

令和8年度 学校だより

こ 湖 なん 南

第7号

令和8年10月7日

氷見市立湖南小学校

TEL 91-1226 FAX 91-5959

Eメール konan-es@himi.ed.jp



「自分で考え、正しいことができる子供に」

「**水は低きに流れる**」という言葉があります。水は、何もしなければ低い方へ流れていきます。人も同じです。楽な方、簡単な方へ流れてしまうことがあります。だからこそ、「自分で考え、正しい方を選ぶ力」が大切なのだと思います。

学校生活には、たくさんの「約束」があります。なぜ、廊下を走ってはいけないのか。なぜ、人の話を最後まで聞くのか。なぜ、決められたことを守るのか。それは、誰かに怒られないためではありません。自分も友達も、安心して気持ちよく生活するためです。間違いを注意されたとき、「でも……」「だって……」と反発するのではなく、まず素直に人の言葉を聞いてみる。自分の行動を振り返り、「次はどうすればよいか」を考える。その素直さや、自分を振り返る力も、子供たちが身に付けてほしい大切な力です。「先生に言われたからする」のではなく、「**自分で考えて、正しいことをする**」。その力を育てることは、これからの時代を生きる子供たちにとって、とても大切な学びです。

学校だけでは、子供の規範意識は育ちません。家庭での「これはしてはいけない」「約束は守ろう」「間違えたら素直に謝ろう」という一つ一つの言葉や姿が、子供たちの心をつくります。

水が低きに流れるのではなく、**自分の力で、正しい道を選んで進む子供たちに育つよう**、学校と家庭、地域が同じ思いで、子供たちの成長を支えていけたらと思います。

10月は、一年の折り返しと言われる月です。「なりたい自分」に向かって、困難を乗り越えながら一步一步、前に進める毎日になることを願います。



能登青少年自然の家での宿泊学習（5・6年生）9／11・12

8月の大雨のため、羽咋への国道415号線が通行できず、七尾経由で能登青少年自然の家へ行きました。5・6年生は、学校ではできない体験活動を通して、班ごとに協力しながら様々な活動に取り組むことができました。湖南子の約束として「自分から挨拶」「10分前行動」「集団行動」を意識し、班長が中心となって、一人一人の役割を果たそうとする姿が多く見られました。



一人一人、役目を果たした野外炊飯



食堂でのひととき

みんなで考え、問題を解いたウォークラリー

第3回避難訓練（地震・洪水）9／24

9月24日（木）に、第3回避難訓練（地震・洪水）を行いました。地震も洪水も経験した子供たちは、自分の命を守る行動について、この訓練を通して考える姿がみられました。校区のハザードマップを提示し、自分たちの地域を知ることの大切さ、日頃の学習が、これから生きる力になることを伝えました。



～ふりかえりカードより～

- みんなで行動できました。つぎは、みんなで列をくずさないで行きたいです。（1年生）
- いつか学校で、洪水や地震がおきたら、しっかり先生や大人の話を聞き取って、安全に避難し、命を大切に行動したいです。（2年生）
- 自分の目当てを守れてうれしかったです。本当に地震があったとき、自分の命や頭などを守れると思いました。（3年生）
- 「そなえあればうれしいなし」ということを先生が言っておられたし、校長先生もそういう話をされていたので、避難訓練は大事だと思いました。（4年生）
- この避難訓練を通して、命の大切さと、自分の判断で行動する大変さを感じました。本当に災害が起こったときは、今までしてきたことを生かしていこうと思いました。（5年生）
- この前の大雨のときも、家の前が水につかっていたので、避難訓練は大事だと思い直しました。（6年生）
- 校長先生の話を聞いて、いつも何気なくしている勉強が、災害のためになると知って、もっと、頑張ろうと思いました。（6年生）

さわやか にこにこ★大作戦

秋の交通安全運動が終わりました。子供たちは、日頃より、家庭、地域の方に見守られ、安全に登下校することができます。多くの方に感謝の気持ちをもって、気持ちのよい挨拶ができる湖南子に、安全に行動できる湖南子を目指し、一年の振り返りである10月に入って、集団登校時の挨拶や歩き方について確認しました。家庭での声かけも、よろしくお願いします。



社会科の学習～アルビスの見学～（3年生） 10／5



3年生は、社会科の学習で、スーパーマーケット「アルビス」へ見学に行きました。

お店のバックヤードで作業されている様子を見せてもらったり、マイナス20度の冷凍庫の中に入れてもらったりと、大変貴重な体験をすることができました。

